

第2回恵庭市市民活動支援制度審査会 結果報告

1. 審査日時 2022年5月27日（金）9時30分～11時45分

2. 場 所 市民活動センター 2階 会議室8—2

3. 審査員

委員長	市民活動コーディネーター	水野 みどり	欠席
副委員長	総務部隣財務室長	山口 勝	欠席
委員	企画振興部次長	高橋 英志	出席
委員	教育部次長	大嶋 克幸	欠席
委員	NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会理事	高橋 正彰	欠席
委員	市民活動コーディネーター	浅野 小百合	欠席
委員	市民活動コーディネーター	中嶋 あゆみ	欠席
委員	市民活動コーディネーター	和田 光雄	出席
委員	市民活動コーディネーター	石山 香織	欠席
委員	市民活動コーディネーター	小隅 麻美	出席

※欠席委員は事前の書類審査を行った

4. 申請団体及び審査結果

① やさしい日本語教室 ENIWA 実行委員会（協働担当課：企画課）

事業名	やさしい日本語教室 ENIWA
事業概要	市内の企業で働く外国人技能実習生などに向け、日本語の普及、日本文化の紹介、生活者のための外国人に言語難民にならないようにコミュニケーションなどを支援する。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・市内の企業で働く技能実習生はかけがえのない存在で、恵庭に溶け込んでもらうためにも、多文化共生のまちづくりを実現するために必要な事業である。自主自立の仕組みが出来ることを期待する。また、担当課が実施している日本語ボランティア活動とも連携を取り実施していただきたい。
採択	

② 恵庭市フラワーマスター協議会（協働担当課：花と緑・観光課）

事業名	花とも写真展及び写真講習会開催事業
事業概要	恵庭市内の美しい花の庭や緑をパネル写真で紹介する「花とも写真展」を市内各所で巡回展示・次年度分の作成。花の撮影技術を向上させ、花とも写真展応募を促進させるための「写真講習会」の開催。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・花のまち恵庭を記録する良い方法だと思う。市のインスタグラムや、開発中の市公式アプリの活用によりアプローチの多様化、講習会にあたっては、参加料を徴収するなど、自主自立に向けた取り組みも検討があると良い。本年度は協働事業として最後の年となるが、引き続き担当課との連携はもとより、団体の活動実績を周知し、本事業の充実・発展されることを期待する。
採択	

③ 恵庭市フラワーマスター協議会／恵庭花のまちづくり推進会議（協働担当課：花と緑・観光課）

事業名	「はなふる」での庭づくり講習会開催事業
事業概要	「暮らしを恵む庭」の通年管理を利用し、庭の管理技術についての講習を行う。また、テーマを絞った単発の講習会を4回開催する。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・庭主の高齢化に伴って、市民ガーデナーの世代交代が必要という地域課題に対し、「はなふる」を活用した大変意義のある活動である。体験型観光に繋げるなど、自主自立の構築や市民と市外の人との交流拡大などさらなる「はなふる」の活用と事業の充実・発展を期待する。
採択	

④ えにわ感染対策チームこびりんず（協働担当課：介護福祉課）

事業名	「正しく恐れるコロナ対策」感染対策情報発信！
事業概要	新型コロナ感染対策について正しい知識を学び発信するために、2ヶ月に1回広報紙の作成と、年に1回感染対策講演会を階層する。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・新型コロナウイルス感染症が長期化し、様々な情報が錯綜し混乱しながらも、何とか日常が送れるようになってきたと思われる。ウィズコロナに向けて改めて正しい知識の発信は重要であり、研修会では最新の状況に合わせた内容を期待する。
採択	

⑤ チーム Sou（協働担当課：議会事務局）

事業名	若者と一緒に考えよう！恵庭の未来2
事業概要	政治とまちづくりについて、将来の恵庭を担っていく若者世代と一緒に、恵庭の現状を把握し、これから必要なことを学ぶため、北海道議会、恵庭市議会、札幌市の若者の居場所を見学した後に、意見交換会を開催する。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・成人年齢の引き下げ、選挙権などタイムリーな企画である。次世代を担う若い人たちに、実際の道議会や市議会を見て考える機会とするのはとても良い。まちづくりの課題は色々あるが、まずは興味を持ってもらう事が課題解決の一歩である。若者の投票行動のきっかけになることを期待する。
採択	

⑥ チーム Sou／☆ごみ☆バスターズ（協働担当課：廃棄物管理課）

事業名	子どもたちと一緒に考えよう！～恵庭のごみ問題と環境～
事業概要	小中学生とその保護者を対象とした恵庭市廃棄物処理施設の見学とグループワークを通して、ごみ問題の現状を知り、同行する保護者や家庭でごみ問題を考えるきっかけにすることや、自分たちに出来る対策を見つける。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・環境問題に子どもの頃から向き合う事は大切である。学校の授業として取り組んでほしい課題とも考える。この事業をきっかけに1人でも多くの子どもたちが、ごみやエネルギー問題に関心を持ち取り組みが広がることを期待する。前年度の参加者が運営に参加するなど発展も見られるので、今後は自主自立への仕組みとして企業との連携なども検討されると良い。
採択	

⑦ NPO 法人おはな (協働担当課：保健課)

事業名	依存症予防啓発普及事業
事業概要	依存症に関する偏見、差別を解消し、依存症者や家族に対する適切な治療・支援につながる行動変容を促すことを目的として、依存症の理解を深めるため、予防教育と予防啓発セミナーを開催する。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・依存症や心の病は年々増加傾向にあり、見過ごしがちな分野に取り組む団体の活動が広く啓発されることを願う。対象者の把握が難しい状況ではあるが、本事業を契機に本人や家族が適切な治療や支援に結びつくことが出来るよう、様々な機関や理解者を増やし連携できる体制作りにつながることを期待する。
採択	

⑧ わこまるクラブ (協働担当課：社会教育課)

事業名	小学生を対象とした体験学習
事業概要	年間10回、金曜日の午後や休日、長期休業などを利用し、小学生を中心とした、普段は出来ない大人も子どもも学びあうことが出来る体験を通じた学習活動を行う。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ ・未来の担う子どもたちに、学校以外の大人と様々な体験をさせる学習は、生きる力を育てる大事な機会だと強く感じる。ただ、場所が限定されており、公益性に欠ける部分があるので、昨年度の実績も踏まえ活動場所を拡大するなど、さらに事業の充実発展を期待する。
採択	